千葉県教育委員会　教育長賞
正直に納めることの大切さ

船橋市立海神中学校
第二学年　小見山　理咲

少し前に、動画配信などで人気を集めるインフルエンサーが脱税をしていたとして、実刑判決を受けたというニュースを見た。私は普段からＹｏｕＴｕｂｅやＳＮＳを見ることが多く、インフルエンサーはとても身近な存在だ。そのため、「あのような仕事をしている人でも、税金を納めなかったことで刑務所に入るほど重い罪になるのだろうか。」と驚いた。

その話を家でしたところ、会計監査に関わる仕事をしている父が、「会社が正しい申告をしているかを確かめる仕事には、大きな責任がある。もし、うその申告をそのまま見過ごしたり、不正に加担したりすれば、自分も責任を問われることがある。」と話してくれた。私は、税金は単にお金を納めるだけの話ではなく、多くの人が正直に申告し、それを確認する人がいて初めて成り立つ仕組みなのだと知った。

気になって税金について調べてみると、税金は学校や道路、医療など、私たちの暮らしを支えるために使われていることが分かった。私たちが毎日通う学校や通学路、部活動で利用する施設なども、税金によって支えられている。

こうして考えると、税金は「国に取られるお金」ではなく、「社会のみんなが安心して暮らすために少しずつ負担し合うお金」なのだと思う。そして、その仕組みは、一人一人が正しく申告し、決まりを守るという「信頼」の上に成り立っている。脱税が重い罪とされる理由は、お金をごまかしたことだけではなく、社会を支える信頼そのものを壊してしまうからなのではないかと思った。

最近では、会社員だけでなく、動画配信やＳＮＳなどを通して収入を得る人も増えている。私たち中学生にとって、そのような働き方は以前よりずっと身近になった。将来は、私たちの世代も会社に勤めるだけではなく、自分の得意なことを生かして自由な働き方を選ぶ人がもっと増えるかもしれない。

しかし、働き方がどれほど変わっても、社会の中で収入を得る以上、税金を納める責任は変わらないはずだ。自由には責任が伴うという言葉があるように、自分の力で収入を得るなら、その一部を社会のために負担することも、大人としての責任なのだと思う。

今の私は税金を納める立場ではない。しかし、買い物をすれば消費税を払い、学校など税金で支えられている場所で生活している。今回のニュースをきっかけに、私は税金はお金の問題だけでなく、人と人との信頼によって支えられている仕組みなのだと気付いた。将来どのような仕事に就いたとしても、「収入を得ること」と「社会を支えるために税金を納めること」は切り離せないものだと思う。将来、私も社会から信頼される一人として、正しく税と向き合える大人になりたい。